

東京慈恵会医科大学附属第三病院

〒201-8601 狛江市和泉本町4－1 1 1－1

[診療時間やアクセス方法等の情報はこちら](#)

病棟の建築時期と構造

建物情報\病棟名	1A	1C	3A	4A	4B	5B	6A	6B	7A	7B
建築時期	1971	1978	1971	1971	1971	1971	1971	1971	1971	1971
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨鉄筋コンクリート造

建物情報\病棟名	8A	8B	9A	9B	ICU					
建築時期	1971	1971	1971	1971	1971					
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨鉄筋コンクリート造					

慢性期										
休棟予定										
廃止予定										
介護保険施設等へ移行予定										
無回答等										

2025年7月1日時点における病床の機能の予定において、介護保険施設等へ移行予定を選択した場合

病床の機能区分	病棟名									
介護医療院に移行予定										
介護老人保健施設に移行予定										
介護老人福祉施設に移行予定										
上記以外の介護サービスに移行予定										

「2025年7月1日時点の機能の実現」に向けて、それ以前に変更予定がある場合

分野ごとの情報

◆基本情報（職員配置、届出の状況など）	◆患者の入退院等の状況	◆医療内容に関する情報（手術、リハビリテーションの実施状況など）
・設置主体	・入院患者の状況（年間）	・算定する入院基本用・特定入院料等の状況
・病床の状況	・入院患者の状況（年間／入棟前の場所・退棟先の場所の状況）	・手術の状況
・診療科	・退院後に在宅医療を必要とする患者の状況	・がん、脳卒中、心筋梗塞、分娩、精神医療への対応状況
・入院基本料・特定入院料及び届出病床数	・看取りを行った患者数	・重症患者への対応状況
・DPC医療機関群の種類		・救急医療の実施状況
・救急告示病院、二次救急医療施設、三次救急医療施設の告示・認定の有無		・急性期後の支援、在宅復帰の支援の状況
・承認の有無		・全身管理の状況
・診療報酬の届出の有無		・リハビリテーションの実施状況
・職員数の状況		・長期療養患者の受入状況
・退院調整部門の設置状況		・重度の障害児等の受入状況
・医療機器の台数		・医科歯科の連携状況
・令和4年4月1日～令和5年7月1日の間に病棟の再編・見直しがあった場合の報告対象期間		

◆基本情報（職員配置、届出の状況など）

設置主体（2023（令和5）年7月1日時点）

(病 棟 名)		7A	7B	8A	8B	9A	9B	ICU			
(機能区分)		急性期	急性期	急性期	急性期	急性期	急性期	高度急性期			
一般 病床	許可病床		43床	44床	39床	41床	51床	46床	6床		
		上記のうち医療法上の経過措置に該当する病床数	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床		
	最大使用病床数		40床	43床	38床	41床	47床	41床	6床		
	2025年7月1日時点の予定病床数		43床	44床	39床	41床	51床	46床	6床		
療養 病床	許可病床		0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床		

診療科

(項目の解説)		主とする診療科は、5割以上の患者を診療している診療科を示しています。5割を超える診療科がない場合は、上位3つの診療科を示しています。									
(病 棟 名)		1A	1C	3A	4A	4B	5B	6A	6B	7A	7B
(機能区分)		高度急性期	急性期	急性期	高度急性期	高度急性期	急性期	急性期	急性期	急性期	急性期
主とする診療科 複数ある場合、上位3つ		救急科	複数の診療科で活用	複数の診療科で活用	複数の診療科で活用	複数の診療科で活用	複数の診療科で活用	産婦人科	小児科	複数の診療科で活用	複数の診療科で活用
		-	リハビリテーション科	泌尿器科	呼吸器内科	外科	外科	-	-	整形外科	消化器内科（胃腸内科）
		-	整形外科	脳神経外科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	眼科	-	-	脳神経外科	外科
		-	-								

DPC医療機関群の種類

(項目の解説)		施設全体
DPC医療機関群の種類	DPC制度とは、急性期の入院医療を担う医療機関において、患者に対し、入院日数に応じた1日あたり定額の医療費を請求する制度です。この項目は、DPC制度の対象となる病院の特性を示すもので、特性や疾患等に応じて1日あたりの医療費の設定が異なります。Ⅰ群が大学病院本院、Ⅱ群が大学病院本院に準じる病院、Ⅲ群がそれ以外の病院であることを示します。	D P C 標準病院群

救急告示病院、二次救急医療施設、三次救急医療施設の告示・認定の有無

(項目の解説)		施設全体
救急告示病院の告示の有無	救急告示病院とは、事故や急病等による救急患者を救急隊が緊急に搬送する医療機関として、都道府県知事が認めた病院です。また、救急患者のうち、入院医療が必要な重症な救急患者を休日や夜間に受け入れる医療機関を二次救急医療施設といいます。さらに、二次救急では対応できない重篤な救急患者を24時間体制で受け入れる医療機関をを三次救急医療施設と呼びます。	有り
二次救急医療施設の認定の有無		有り
三次救急医療施設の認定の有無		無し

承認の有無

(項目の解説)		施設全体
特定機能病院の承認の有無	特定機能病院とは、高度の医療の提供、高度の医療技術の開発及び高度の医療に関する研修を実施する能力を備えた病院として、	

非常勤	0.0人	0.0人	0.0人
理学療法士	常勤	0人	10人
	非常勤	0.0人	0.0人
作業療法士	常勤	0人	5人
	非常勤	0.0人	0.0人
言語聴覚士	常勤	0人	2人
	非常勤	0.0人	0.0人
薬剤師	常勤	0人	35人
	非常勤	0.0人	0.0人
臨床工学技士	常勤	0人	7人
	非常勤	0.0人	0.0人
管理栄養士	常勤	0人	23人
	非常勤	0.0人	0.8人
救急救命士	常勤	0人	0人
	非常勤	0.0人	0.0人

地域包括ケア病棟入院料 2	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
地域包括ケア病棟入院料 3	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
地域包括ケア病棟入院料 4	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
地域包括ケア入院医療管理料 1	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
地域包括ケア入院医療管理料 2	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
地域包括ケア入院医療管理料 3	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
地域包括ケア入院医療管理料 4	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
特殊疾患病棟入院料 1	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
特殊疾患病棟入院料 2	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
緩和ケア病棟入院料 1	0件									

(病 棟 名)		6B	7A	7B	8A	8B	9A	9B	ICU		
(機能区分)		-	-	-	-	-	-	-	-		
全身麻酔の手術件数		*	*	*	*	*	*	*	205件		
臓器 別の 状況	皮膚・皮下組織	*	*	*	0件	0件	0件	*	0件		
	筋骨格系・四肢・体幹	*	*	*	*	0件	0件	*	*		
	神経系・頭蓋	0件	*	0件	0件	0件	0件	0件	*		
	眼	*	0件	0件	*	0件	0件	0件	0件		
	耳鼻咽喉	*	*	*	*	0件	0件	0件	*		
	顔面・口腔・頸部	0件	*	*	0件	0件	0件	*	0件		
	胸部	0件	*	*	0件	0件					

人工心肺	人工心肺は、心臓手術などの際に、一時的に心臓と肺の機能を代行する装置です。値は人工心肺装置を使用した患者数です。	0件
血漿交換療法	血漿交換療法は、劇症肝炎、肝不全、膠原病等の患者に対し、患者の血液から病気の原因となる物質が含まれる血漿を分離して廃棄し、新しい血漿を患者の血液に補充する治療法です。値は処置を行った患者数です。	* ※
吸着式血液浄化法	吸着式血液浄化法は、劇症肝炎や肝不全等の患者に対し、血液を吸着材に通すことで血液中に蓄積した老廃物や毒素等を除去する治療法です。値はこの処置を行った患者数です。	0件
血球成分除去療法	血球成分除去療法は、潰瘍性大腸炎やクローン病等の自己免疫疾患の患者に対し、血液から自分の組織を攻撃する白血球を除去する治療法です。値はこの処置を行った患者数です。	0件

